

2026 年度第 2 回ふれあい講座実施報告

実施日時：2026 年 8 月 21 日 (金) 19:00～20:30 場所：JICA 沖縄体育館
来場者数 102 名（一般 87 名）（ゲストスピーカー研修員 9 名）（他コース研修員 3 名）（UIRA/ICoS 3 名）

JICA 研修員 (出身国)
Ms. モニカ (ブラジル)、Ms. マユミ (ブラジル)、Mr. ペドロ (キューバ)、Ms. メリッサ (キューバ)、Ms. ベアトリス (ペルー)、Ms. ジョバナナ (ペルー)、Mr. ハビエル (ペルー)、Mr. ケンジ (アルゼンチン)、Mr. ショウエイ (ボリビア)
当日の様子
第 2 回ふれあい講座は、「5S-KAIZEN を通じた病院における安全とサービスの質向上」と、「映像コンテンツ制作技術」の 2 つのコースから計 9 名の研修員をゲストスピーカーに迎えて開催しました。 夏休み後半ということもあり、たくさんの親子連れが訪れました。日系の研修員ということもあり、皆さんが流暢な日本語で自己紹介してくれました。プログラムの始めは研修員の出身国の衣食住にまつわる選択クイズをしました。キューバからのクイズは、キューバの人は話し相手に何かを二度聞きする際、鼻を上に向かってすぼめる（ヒクヒク）させる仕草をする！ということがわかりました。キューバ出身のペドロさんが実際にその表情を作ってみせると、会場の皆さんも見よう見まねで鼻をすぼめたり、鼻をひくひくさせたり。あちこちから笑い声も聞こえて和やかな雰囲気になりました。 その後のふれあいタイムでは、研修員が各々のブースに分かれ、来場者の皆さんと様々な話題で交流する時間となりました。折り紙ブースに今回、新たに「国旗カードかるた」を置くと、世界の国旗や挨拶に夢中になって遊ぶ子ども達の姿が見られました。折り紙で「鶴を作ってみよう！」と別コースの研修員も折り紙に挑戦。UIRA スタッフが丁寧に折り方をレクチャーしている姿もありました。 パフォーマンスタイムでは、参加者全員で「マカレナ」を踊りました。子どもたちもノリノリで踊り、会場全体が一気にラテンの国へといざなわれるような、楽しいひとときとなりました。次にアルゼンチンのケンジさんが絃姿、友人のエマさん（イギリス出身）は紺地の着物姿で登場し、三線で『かぎやで風』を披露。琉球古典音楽のコンクール出場を目指しているお二人の歌声は大変すばらしく、聴衆からは大きな拍手が沸き起こりました。そのままお二人の唄三線でカチャーシーを踊り、大盛況のもと、ふれあい講座が終わりました。 昨年度ボランティアで参加した高校生が今回も駆けつけてくれ、受付と展示物の貼り付けや撤収などのお手伝いを担ってくれました。彼らの働きぶりに興味を持った他校の高校生からも、ボランティアの申し出があり、次回へと繋がる新たな広がりも生まれました。次回は 10 月 23 日（金）に開催予定です。皆さまのお越しをお待ちしております。

会場の様子		
流暢な日本語で挨拶する研修員	様々な民芸品に興味深々の子ども達	国旗かるたで遊ぶ親子連れ
		
唄三線を披露	民族衣装でカチャーシー	第 2 回集合写真
		